

いやし

病気

自分たちが今までにどんな病気にかかったことがあるか考えて、次の空白に書いて下さい。

イエスは、しばしば病人をいやしました。当時の

人々の病気に対する考えは、今の時代の私たちとは違っていました。今なら、病気になると医者のところに行って病気を治してもらいます。病気の原因も、たいていの場合、病原菌によるものと考えられています。

しかし、当時の人々は、病気になるのはその人の悪霊がついたからだと考えていました。つまり、その人の罪のせいで悪霊が入り込み、病気になったと考えていました。だから、病気になるると祈禱師のところにいたり、有名な預言者のところに行ったり、病気を治してもらいました。

病気が治らない人は、町の外へ追い出され、罪人のようにあつかわれていました。一般の人は、病人にさわるとけがされると考えていましたので、病人に近づこうとしませんでした。

いやし

イエスが病人をいやされたのは、ただ病気が治される事だけを意味していませんでした。つまり、病気の原因である罪のゆるしをとまっています。病気が治された人は、病気が治る事によって罪人とはみなされず、町の中を自由に歩く事もゆるされました。病人が一人の人間として社会の中で公に生活でき

る事を願っていたのです。

この意味で、いやしは過去の出来事ではありません。

私たちもイエスと同じようにいやしを行なう事が

出来るのです。私たちが今までの生活をあらためて、

一人一人の人間を大切にする行動を取って行く事が

大切なのです。

